



2019年 **12/12** [木] 13:30~16:30
 場 所：兵庫県公館 大会議室

プログラム

総合司会：兵庫県立大学理事兼副学長 内布 敦子

| | |
|---------------|---|
| 13:30 - 13:40 | 開会あいさつ 兵庫県立大学理事長 五百旗頭 真 |
| 13:40 - 13:55 | 井戸 敏三 兵庫県知事からメッセージ 「25年、復興への思い」 |
| 13:55 - 15:15 | <p>第1部 研究成果報告「人を守る減災の科学」 司会：兵庫県立大学看護学部長 坂下 玲子 兵庫県立大学で防災・減災について様々な研究が積み上げられており、人を守る科学の一端を担う4人の研究者から研究成果を報告します。</p> <p>人を守る／都市シミュレーション：大谷 英之 准教授 人を守る／災害対応マネジメント：紅谷 昇平 准教授 人を守る／コミュニティ防災：馬場 美智子 准教授 人を守る／災害時の看護：増野 園恵 所長 質疑応答</p> |
| 15:15 - 15:20 | <p>WHO神戸センター：地元と世界をつなげる災害対策と健康危機管理への取り組み WHO健康開発総合研究センター健康危機管理担当医官 茅野龍馬氏</p> |
| 15:30 - 16:30 | <p>第2部 鼎談「阪神・淡路大震災の体験は社会や科学に何をもたらしたか」 減災復興、政策、被災者支援など幅広い分野で重要な役割を果たしてこられた3人が阪神・淡路大震災以降の減災復興の社会のあり方を討議します。</p> <p>【登壇者】兵庫県立大学理事長 五百旗頭 真氏 神戸市看護大学学長、兵庫県立大学名誉教授 南 裕子氏 兵庫県立大学減災復興政策研究科長 室崎 益輝氏（コーディネーター）</p> |
| 16:30 - | 閉会あいさつ 兵庫県立大学学長 太田 勲 |



